学校番号	1206

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)ものづくり実習（電気編 B）	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	第二種電気工事士筆記試験合格テキスト　2024 年度（梅田出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 実技科目であるから、実習中の取り組みやレポートの内容が評価の大部分を占めます。
- 「第二種電気工事士試験」に直接的に関わる内容が含まれているので、しっかりと学び、資格取得に興味があれば資格取得に積極的にチャレンジしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】

コンピュータの操作や電気に関する基礎的な知識を有し、かつそれらを適切に活用することができる。

電気工事や計測に関して、知識・技術とともに国家資格合格程度に到達する。

【思考力、判断力、表現力等】

コンピュータ実習や電気工事の単位作業を通して、自らの思考を深め、問題解決方法に適切に取り組むことができる。また、それらを他者に伝え表現し互いに学びあう力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】

コンピュータ実習や電気工事の単位作業の向上をめざし、実際の作業を通して自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンピュータの操作や電気に関する基礎的な知識と技術を身につけ，工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し，実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。	コンピュータの操作や電気に関する諸問題の適切な解決をめざして，広い視野から自ら思考し，基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し，その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	コンピュータの操作や配線技術について主体的に興味・関心を持ち，その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに，社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぼうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		電気工事 1. 工具について 2. 配線図（図記号） 3. 電線の接続 4. 器具の取り付け	a: 課題を通して，基礎的・基本的な配線工事に関する知識と技能を身につけている。 b: 課題を通して，基礎的・基本的な配線工事に関する知識と技能を身につけている。 c: 課題を通して，電気工事に関する基礎的・基本的な技術に主体的に関心を持ち，安全で合理的な配線工事を意欲的に実践しようとしている。	○実験前の講義に対する授業観察 ○作品 など	○実験前の講義に対する授業観察 ○作品 など	○授業観察 ○作品に取り組む姿勢 ○作品の質 など
後期	コンピュータ実習（表計算）	・Excel の基本操作 ・関数を使った表計算 ・グラフの作成 ・課題作成	a:Excel の機能である関数を扱い計算結果を得る数学的技能が身に付いている。 b:文字の種類や色、罫線など適切なレイアウトの表を作成し、計算の結果を様々な種類のグラフによって表現できる。 c:見やすく分かりやすい、まとまった、表を作成しようとしている。	ワークシート 提出課題	ワークシート 提出課題	ワークシート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度